

## 「卒業生の歩み」

10MA(機械課A組) 昭和34年卒業(1959年) 棚橋 一三

生徒達へ 大学に行くか社会に出るか。これからの人生を決める大事な高校3年間。よくこれからのことを自分で考え、人生の先輩に聞き結論は自分で出す。社会に出る人は、就職という大関門をくぐり抜けないといけない。しかし学生の中に社会を知るといことは難しい。ただ「社会に出て困難にぶつかってもくじけないぞ」という強い気持ちを持って欲しい。仕事は会社に入ればいやと言うほど鍛えられる。自分自身に甘えることなく精神的に強くなっていくこと。

先生へのお願い 就職する学生への徹底したフォローをお願いしたい。まず一步社会に踏み出す未知の世界へ行く不安感があると思う。私もそうだった。それによって、これからの人生がガラッと変わる。生徒に色々な経験をさせて印象深い高校3年間にしてほしいと思います。

卒業後の歩み 昭和34年(1959年)東京ガス入社。入社後東京ガスの渋谷営業所を最初に管内事業所を多く転勤し勤務。その間に未普及地区にガスを何万件と引いたり、多摩ニュータウンの最初からたずさわりガスを引いたり、熱量変更を完遂させたり、ガス事故の処理や予防にあたり大きな事故になるのを未然に防止したりした。また本社でガスに関する特許管理や普及の仕事をした。高校時代と違う、まさに社会での経験を各職場でした。

近況 平成12年(2000年)に定年退職。その後3年間嘱託勤務し退職。在職中に定年後に人の役にたつボランティアをしたいと思い腹話術の勉強をした。定年後から現在まで老人施設を慰問し芸能ボランティアをしたり、横浜人形の家でガイドボランティアをしている。また芸能ボランティアをするための芸の勉強を種々している。

